

特定非営利活動法人日本IDDMMネットワーク 平成20年度事業報告

平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで

1 事業の成果

平成18年度に策定した、次の10年に向けての5つのビジョン（将来像・目標）医療・療養環境の充実 情報提供・相談体制の充実 社会への啓発 医療・福祉制度の充実 危機管理の整備に則って取り組んだ。

「医療・療養環境の充実」では、医療者、製薬企業と協力してインスリンポンプやカーボカウントのセミナーを実施し、参加した患者や医療関係者等からは取り組んでみたいという声が多く寄せられた。また、平成17年から募金活動に取り組んできた「1型糖尿病研究基金」は、助成金交付基準とする200万円によりやく到達したので、初めて先進的な研究2件に対し、研究費の助成（総額200万円）を行った。この基金については、1型糖尿病患者でもあるプロ野球阪神タイガースの岩田稔投手が協力表明を行ったこともあり、マスコミにも数多く取り上げられ、年間ベースで過去最高の募金を集めることができた。その他「看護職者のための糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関する支援マニュアルの開発」等の研究に協力し、医療・療養環境の充実に繋がった。

「情報提供・相談体制の充実」では、昨年度に引続き成人発症患者を対象にした交流会を開催し、さらには、妊娠・出産に関するセミナーや高齢患者の交流会を初めて開催したところ様々な課題が確認できた。今後は、こうした個々のテーマ別に全国各地で交流会やセミナーを開催していく必要性を強く感じたところである。また、365日休まず電話や電子メールでの相談に対応するとともに会報を4000部作成し、患者・家族のみならず行政、医療関係団体等にも配布し、より一層の情報提供・相談体制の充実に繋がった。

「社会への啓発」では、養護教諭向けの本に当法人のホームページに掲載している「1型糖尿病とは」の転載依頼があり、今後の学校現場での理解が進むことを期待している。また、「糖尿病を持つ子どもの自己管理行動を促すための学習支援」の研究に協力し、教育環境の充実に努めた。さらに、今年度は当法人が取材に対応しただけでも過去最高の44件（当法人で掲載が確認できたもののみ）が新聞等に取り上げられ、社会への啓発に繋がった。

「医療・福祉制度の充実」では、20歳以上の患者への公的支援導入に向けて、全国8箇所での意見交換会やアンケート調査に取り組み、さらには他の疾病団体と協力して国や国会議員に対して働きかけを行った。この結果、難病対策予算は増加したが、20歳以上の患者支援策は課題として残ったままである。

「危機管理の整備」では、静岡市等で災害啓発セミナーを開催し、関係者に防災の重要性を再認識してもらった。また、1型糖尿病災害トレーナー養成講座を全国2会場開催し19名のトレーナーが誕生し、累計で70名となった。このトレーナーによる地域での自主的な啓発活動も進んでいる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
ネットワークの拡大・支援	カーボカウントとインスリンポンプのセミナーをさいたま市、東京都及び高知市で開催した。 1型糖尿病や当法人について紹介したり、フレットを10,000部作成し、全国の関係者に配布した。 21年度に向けて、学校関係者との連絡会議やカーボカウントとインスリンポンプセミナーの準備に着手した。	10月18日	さいたま市	8人	患者及びその家族等 62人 60人 88人	840
		12月6日	東京都	4人		
		3月7日	高知市	3人		
		7月～3月	佐賀市	2人	60000人	
情報収集提供・政策提言	20歳以上の患者支援策と病名についての意見交換を全国8会場で実施した。 20歳以上の患者支援策と病名について全国一斉にアンケートを実施し、286件の意見を得た。 20以上の患者支援策の実現に向けて、JPA(日本難病・疾病団体協議会)等を通して、国や国会に対して働きかけを行った。 松本慎一バイラーオールセインツ隣島移植研究所ディレクターと畑中暢代東京大学医科学研究所特任研究員を講師に招き、隣島移植についての講演会を開催した。	2月21日	津市	2人	200人	1576
		3月21日	沖縄市	2人		
		8月31日	札幌市	3人	患者及びその家族等 9人 32人 20人 20人 18人 14人 14人 15人	
		9月23日	熊本市	2人		
		9月27日	大阪市	4人		
		9月28日	名古屋市	4人		
		10月18日	高松市	3人		
		10月19日	仙台市	3人		
		10月19日	広島市	3人		
		11月16日	東京都	4人		
		8月～1月	千葉市 東京都 佐賀市	3人	60000人	
		通年	札幌市 東京都 佐賀市	2人	60000人	
		5月25日	東京都	5人	74人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
情報収集提供・政策提言	<p>「1型DMの医療費の仕組みを知ろう！今年の診療報酬の改定のポイントを中心に」を開催した。</p> <p>㈱サンリオ様の協力を得て、ロシュ・ダイアグノスティクス様から提供いただいた血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」等を、患者・家族へ配布した。</p> <p>佐賀大学及び西九州大学の教授等に対し岩永幸三副理事長が「協働の立場から見た1型糖尿病患者支援」等について情報提供を行った。</p> <p>日本小児看護学会九州地区地方会「病気の子どもを育む家族を支える看護 家族と看護職のパートナーシップのあり方について」で岩永幸三副理事長が「糖尿病の子どもを育む家族の願い」と題した特別講演を行った。</p> <p>全国難病センター研究会で岩永幸三副理事長が「行政と協働するNPOの8つの姿勢」「NPOと協働する行政職員の8つの姿勢」について情報提供を行った。</p> <p>その他、日本糖尿病学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本移植学会、シンポジウム「患者に語る：iPS細胞」、第7回全国ヤングDMカンファレンス、チャレンジフォーラムin SAGA、先進インスリン療法研究会、新型インフルエンザ患者会タウンミーティング、医療政策サミット2009年等で、情報収集や情報発信を行った。</p>	7月20日	東京都	7人	患者及びその家族等 46人	
		通年	佐賀市	2人	60000人	
		7月5日	佐賀市	1人	6人	
		10月11日	佐賀市	1人	130人	
		3月20日	那覇市	1人	150人	
		5月23 -24日	東京都	6人	60000人	
		9月6-7日	金沢市			
		9月20日	大阪市			
		10月5日	東京都			
		11月1 -2日	名古屋市			
11月8日	唐津市					
12月6日	さいたま市					
1月28日	大阪市					
2月21日	東京都					
外	外					

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究	1型糖尿病(IIDM)災害トレーナー養成講座を大阪市及び東京都で開催した。	10月4日	大阪市	3人	患者及びその家族等 12人	1226
		10月5日	東京都	5人	14人	
	災害啓発セミナーを広島市及び静岡市で開催した。	9月21日	広島市	3人	63人	
		2月22日	静岡市	3人	69人	
	糖尿病ケア(メディカ出版)8月号「今こそ取り組む災害時糖尿病対策第7回 患者団体の災害時対応策」に掲載。	8月1日	佐賀市外	2人	60000人	
	「災害時要援護者(難病患者)支援シンポジウム」(佐賀県及び特定非営利活動法人佐賀県難病支援ネットワーク主催)に講師及びパネリストとして、山本康史理事や森地一夫会員が招聘される等、協力を行った。	2月14日	佐賀市	3人	82人	
	スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の普及に取り組む特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会への協力を行った。	通年	佐賀市外	2人	60000人	
	隣・隣島移植研究会に参加する等、隣島移植の課題解決策を探った。	通年	福岡市 東京都 外	1人	60000人	
1型糖尿病患者・家族等に必要な情報を網羅した「1型糖尿病[IIDM]お役立ちマニュアルPart4」の作成準備に着手した。なお、当マニュアルの作成に当たっては米国のメドトロニック財団から助成をいただいた(次年度繰越)。	11月～ 3月	東京都 名古屋市 水俣市 外	9人	60000人		
1型糖尿病患者・家族等に必要な情報を網羅した「1型糖尿病[IIDM]お役立ちマニュアルPart1」の増刷準備に着手した。	1月～3月	佐賀市外	1人	60000人		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究	<p>以下の調査・研究に協力を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護職者のための糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関する支援マニュアルの開発」(田中佳代久留米大学医学部看護学科母性看護学講師) ・「糖尿病を持つ子どもの自己管理行動を促すための学習支援(保護者調査、学習教材の開発)」(竹鼻ゆかり東京学芸大学教育学部養護教育講座准教授) ・「1型糖尿病治療に対する意識調査」(畑中暢代東京大学医科学研究所特任研究員) ・「医療情報と患者アドボカシーに関するアンケート調査」(早稲田大学パブリックサービス研究所等) ・平成20年度厚生労働省「NPO人材需要調査」事業「全国NPOアンケート調査」 ・(財)損保ジャパン記念財助成先「団体の現況調査」 ・「特定非営利活動法人の実態及び認定特定非営利活動法人制度の利用状況に関する調査」(内閣府国民生活局) ・「若者の自立支援を行う特定非営利活動法人(NPO法人)の実態調査」(内閣府政策統括官) 	通年	東京都 佐賀市外	4人	患者及びその家族等 60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
シンポジウム ・患者家族交流会	○2008年に千葉市で開催した第7回全国シンポジウムの日本IDDMネットワーク通信特集号を4000部発行した。	5月13日	佐賀市	5人	患者及びその家族等 60000人	1248
	○1型糖尿病を考える全国シンポジウム～じゃけえ、どういう病気なん？～(ですからどんな病気なのですか?)を開催した。 <全体会> 1型糖尿病(IDDM)について～小児から成人への移行期のポイントを中心に～ ・四方賢一岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授 ・井上勝総合病院岡山赤十字病院第二小児科部長 全日本エアロビック選手権大会チャンピオンによる実演とお話し～“出会い”を大切に～ 大村詠一(1型糖尿病患者) インスリンポンプについて 広瀬正和大阪市立大学大学院 医学研究科発達小児医学教室医師 1型糖尿病患者を取り巻く医療の現状と今後への期待～患者・家族の立場から～ 井上龍夫日本IDDMネットワーク理事長 1型糖尿病研究基金の贈呈(各100万円) ・松崎高志大阪大学産業科学研究所特任助教 ・杉本光司徳島大学大学院消化器・移植外科研究員 糖尿病とともに生きる～1型糖尿病の摂食障害の合併を通して～ 瀧井正人九州大学病院心療内科講師	1月31日	岡山市 (岡山国際交流センター)	26人	211人	
	<分科会> ・第1分科会 「カーボカウントとインスリンポンプ療法」 広瀬正和大阪市立大学大学院 医学研究科発達小児医学教室医師	2月1日	岡山市 (岡山国際交流センター)	17人	140人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
シンポジウム ・患者家族交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2分科会 「1型糖尿病患者のダイエット」 ・榎原幸二総合病院岡山赤十字病院第一小児科部長 ・堀尾拓之川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床栄養学科准教授 ・第3分科会 「成人発症患者の意見交換会」 					
関係団体との連携	日本製薬工業協会、日本医療器材工業会ヘルスケア関連団体ワークショップ ^o 、特定非営利活動法人日本せきずい基金等とよりよい医療環境等について意見交換等を行った。	通年	東京都外	5人	患者及びその家族等 60000人	167
普及啓発	<p>「患者が作る医学の教科書 1型糖尿病」(月刊ナーズセミナー誌 2008年版7号)に掲載。</p> <p>阪神タイガース岩田稔投手(1型糖尿病患者)の患者等(21人)招待試合(阪神対中日戦)に協力したところマスコミ11社に取り上げられ、1型糖尿病の啓発に繋がった。</p> <p>「災害に負けない」をテーマに1型糖尿病について、東京新聞及び中日新聞に掲載(岩永幸三副理事長、山本康史理事が取材対応)。</p> <p>(社)日本フィランソロピー協会主催の「1型糖尿病と闘う子どもたちのエッセイコンテスト」に協力し、1型糖尿病の啓発に繋がった。</p> <p>1型糖尿病の情報が少ないことについて毎日新聞に掲載(陶山えつ子理事が取材対応)。</p> <p>日本ベクトン・ディッキンソン(株)様で山上雅晴専務理事が1型糖尿病について講演。</p>	<p>7月10日</p> <p>7月27日</p> <p>8月15日</p> <p>8月 ~12月</p> <p>10月24日</p> <p>11月14日</p>	<p>安城市 佐賀市 和水町外</p> <p>西宮市</p> <p>佐賀市 伊勢市</p> <p>名古屋市 佐賀市</p> <p>和水町</p> <p>東京都</p>	<p>3人</p> <p>3人</p> <p>2人</p> <p>2人</p> <p>1人</p> <p>1人</p>	<p>患者及びその家族等 60000人</p> <p>60000人</p> <p>60000人</p> <p>60000人</p> <p>60000人</p> <p>50人</p>	206

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	阪神タイガース岩田稔投手(1型糖尿病患者)を招き、大阪くみの会及び大阪杉の子会と合同でクリスマス会を開催し、マスコミから約30名の参加があり、1型糖尿病の啓発に繋がった。	12月7日	高槻市	2人	患者及びその家族等 180人	
	「よりよい医療の確立を目指す」というテーマで1型糖尿病について、日本経済新聞に掲載(香川由美理事が取材対応)。	12月7日	東京都	1人	60000人	
	阪神タイガース岩田稔投手と全日本エアロビック選手権大会チャンピオンの大村詠一選手(いずれも1型糖尿病患者)を招き、(社)日本フィランソロピー協会及びつぼみの会愛知・岐阜と合同でクリスマス会を開催したところ、マスコミ7社に取り上げられ1型糖尿病の啓発に繋がった。	12月23日	名古屋市	2人	300人	
	「新養護概説(第4版)」(編著者:采女智津江文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課調査官等)に当法人HP掲載の1型糖尿病の概要を転載了承。	2月4日	佐賀市	1人	60000人	
	1型糖尿病の新型インフルエンザ対策に関して、朝日新聞に掲載(岩永幸三副理事長が取材対応)。	3月5日	佐賀市	1人	60000人	
	阪神タイガース岩田稔投手に関連して、1型糖尿病について、共同通信社から全国に発信(井上龍夫理事長、岩永幸三副理事長が取材対応)	3月7日	安城市 佐賀市	2人	60000人	
	『患者の声を「形」にする』をテーマに「医療経済」(医療経済社)に1型糖尿病について掲載(陶山えつ子理事が取材対応)。	3月15日	安城市 佐賀市 和水町	3人	60000人	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	<p>「養護教諭のための学校保健(第9版)」(編著者:采女智津江文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課調査官等)に当法人HP掲載の1型糖尿病の概要を転載了承。</p> <p>その他「1型糖尿病研究基金」に関してもマスコミ等の取材を受け(別掲)、1型糖尿病についての社会的理解を求めた。</p>	3月22日 通年	佐賀市 東京都外	1人 4人	患者及びその家族等 60000人 60000人	
療育相談	<p>電子メール(189件)、相談電話(118件)、ホームページ(17595件)等を通して、様々な相談等に対応した。</p> <p>1型糖尿病 成人発症患者の交流会を昨年度に引き続き開催した。</p> <p>高齢患者の課題を考える交流会を初めて開催した。</p> <p>糖尿病を持つ女性と看護職者のためのセミナー「共に語ろう糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産～糖尿病女性が思うこと 看護職者が思うこと～」を久留米大学医学部等の研究班と共催で初めて開催した。</p>	通年 9月19日 9月20日 11月29日 1月11日 1月18日	佐賀市 和水町 外 東京都 東京都 名古屋市 東京都 福岡市	10人 3人 3人 3人 4人 8人	患者及びその家族等 60000人 9人 14人 16人 21人 33人	322
会報発行	<p>会員の情報交換等のため、会報を4回、各4000部発行した。</p>	5月16日 7月11日 9月12日 12月27日	佐賀市外	8人	患者及びその家族等 60000人	969

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計)	<p>1型糖尿病の根治に向けた先進的研究を公募し、以下の研究に対し、各100万円の助成を行った。なお、贈呈式を1月31日岡山市で開催した「1型糖尿病を考える全国シンポジウム」の中で行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1型糖尿病の遺伝子治療を可能にする膵臓特異的遺伝子デリバリーシステムの開発」 松崎高志大阪大学産業科学研究所特任助教 ・「膵島移植におけるドナー特異的調節性T細胞を用いた免疫寛容誘導」 杉本光司徳島大学大学院消化器・移植外科研究員 <p>上記の研究概要を記したリーフレットを各4000部作成した。</p> <p>1型糖尿病研究基金に関して、記者会見を行う等積極的にPRを行い、また阪神タイガースの岩田稔投手が当該基金に対し協力を表明したこともあり、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、日本経済新聞、スポーツ新聞各誌に取り上げられ、1型糖尿病の啓発にも繋がった。また、医薬・生命科学誌[メディカルバイオ]にも掲載された。</p> <p>全国各地で開催したセミナー等で募金活動を行った。</p>	通年	東京都 名古屋市 岡山市 佐賀市 外	5人	患者及びその家族等 60000人	2161

(2) その他の事業 該当なし

(3) その他

総会

・通常総会 5月25日、東京都で開催

理事会

・第13回理事会 4月26日、東京都で開催

・第14回理事会 11月15日、東京都で開催

・第15回理事会 3月15日、東京都で開催

平成20年度貸借対照表総括表

平成21年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,621,873	13,665,510	1,956,363
未収会費	0	0	0
未収入金	0	0	0
流動資産合計	15,621,873	13,665,510	1,956,363
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資 産 合 計	15,621,873	13,665,510	1,956,363
負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	811,156	811,156	0
前 受 金	10,000	10,000	0
短期借入金	0	0	0
預 り 金	6,725	6,725	0
流動負債合計	827,881	827,881	0
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	827,881	827,881	0
正味財産の部			
前期繰越正味財産	8,934,645	6,641,545	2,293,100
当期正味財産増加額	5,859,347	6,196,084	-336,737
正味財産合計	14,793,992	12,837,629	1,956,363
負債及び正味財産合計	15,621,873	13,665,510	1,956,363

平成20年度財産目録

平成21年3月31日現在
 特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科目・摘要		金額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高(一般会計)	16,030	
現金	現金手許有高(特別会計)	45,260	
普通預金	みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	7,687,878	
普通預金	みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	155,843	
普通預金	百五銀行員弁支店(一般会計)	0	
普通預金	三井住友銀行佐賀支店(一般会計)	3,356,190	
郵便貯金	福岡貯金事務センター(一般会計)	2,598,385	
郵便貯金	福岡貯金事務センター(特別会計)	1,755,260	
郵便貯金	郵便貯金総合通帳・ぱるる(一般会計)	7,027	
	未収会費(一般会計)	0	
	未収入金(一般会計)	0	
	流動資産合計		15,621,873
2 固定資産			
	固定資産合計		0
	資産合計		15,621,873
負債の部			
1 流動負債			
	未払金(一般会計)	811,156	
	前受金(一般会計)	10,000	
	預り金(一般会計)	6,725	
	短期借入金	0	
	流動負債合計		827,881
2 固定負債			
	固定負債合計		0
	負債合計		827,881
	正味財産		14,793,992

平成20年度収支計算書総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

(単位:円)

科 目	合計	一般会計	1型糖尿病研究 基金特別会計	備 考
収入の部				
1 会費収入	1,195,000	1,195,000	0	
・正会員会費収入	405,000	405,000	0	
・賛助会員会費収入	230,000	230,000	0	
・その他の会員会費収入	560,000	560,000	0	
2 寄付金収入	11,750,445	9,929,430	1,821,015	
・一般寄付金収入	9,929,430	9,929,430	0	
・1型糖尿病研究基金寄付金収入	1,821,015	0	1,821,015	
3 助成金等収入	5,334,000	5,334,000	0	
・助成金収入	3,500,000	3,500,000	0	
・負担金収入	1,834,000	1,834,000	0	
4 繰入金収入	0	0	0	
・一般会計繰入金収入	0	0	0	
5 雑収入	203,219	200,345	2,874	
・受取利息	12,979	10,105	2,874	
・雑収入	190,240	190,240	0	
当期収入合計(A)	18,482,664	16,658,775	1,823,889	
前期繰越収支差額	4,949,645	2,656,545	2,293,100	
収入合計(B)	23,432,309	19,315,320	4,116,989	
支出の部				
1 事業費	8,550,252	6,550,252	2,000,000	
・ネットワークの拡大・支援	839,440	839,440	0	
・情報収集提供・政策提言	1,575,232	1,575,232	0	
・調査研究	1,225,159	1,225,159	0	
・シンポジウム・患者家族交流会	1,247,407	1,247,407	0	
・関係団体との連携	166,810	166,810	0	
・普及啓発	205,600	205,600	0	
・療育相談	321,913	321,913	0	
・会報発行	968,691	968,691	0	
・1型糖尿病研究助成金	2,000,000	0	2,000,000	
2 管理運営費	4,078,065	3,917,439	160,626	
・人件費	0	0	0	
・管理費	4,078,065	3,917,439	160,626	
3 繰入金支出	4,000,000	4,000,000	0	
・1型糖尿病研究基金特別会計繰入金支出	0	0	0	
・東京事務所開設準備積立金支出	4,000,000	4,000,000	0	
4 予備費	0	0	0	
・予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	16,628,317	14,467,691	2,160,626	
当期収支差額(A) - (C)	1,854,347	2,191,084	-336,737	
次期繰越収支差額(B) - (C)	6,803,992	4,847,629	1,956,363	

役員名簿

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人日本IDDネットワーク

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	井上 龍夫	愛知県安城市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	山上 雅晴	千葉県千葉市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	香川 由美	東京都文京区	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	三部 庫造	富山県砺波市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	山本 康史	三重県伊勢市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	後藤 昌史	宮城県仙台市	20年6月1日 ～21年3月31日	該当なし
理事	松本 慎一	アメリカ合衆国テキサス州	20年4月1日 ～20年5月31日	該当なし
監事	古賀 敏久	福岡県久留米市	20年4月1日 ～21年3月31日	該当なし

平成20年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成21年3月31日現在

特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

名 称	住 所 又 は 居 所
け や き の 会	宮城県名取市
特定非営利活動法人補食の会	富山県砺波市
つぼみの会愛知・岐阜	愛知県安城市
大 阪 く る み の 会	大阪府茨木市
大 阪 杉 の 子 会	大阪府大阪市
岡 山 つ ぼ み の 会	岡山県岡山市
広 島 も み じ の 会	広島県広島市
特定非営利活動法人DMユース佐賀	佐賀県佐賀市駅前中央一丁目8番32号iスクエアビル3階市民活動プラザ内
D M 風 の 会	熊本県玉名郡和水町
堀 尾 拓 之	岡山県倉敷市